

中丹の教育 まなび通信

京都府中丹教育局
第211号
令和7年12月23日

「中丹の教育」コア会議

10月24日（金）、中丹地域の小・中学校教務主任を対象に、令和7年度「中丹の教育」コア会議を開催しました。今回の会議では、「魅力ある学校づくり」をテーマに、**小中9年間で系統的につなぐカリキュラム・マネジメント**について、課題提起、実践発表、研究協議を通して考察しました。**各ブロックの目指す子ども像の実現に向けて**、自校やブロックの育成したい力や態度等について確認し、その育成のための取組や活動の系統性について**教科等横断的な視点など**から協議を行う中で、自校のカリキュラム・マネジメントの推進に向けて、教務主任として何ができるのかを考えました。

**効果的なカリキュラム・マネジメントによって、
魅力ある学校づくり、目指す子供像の実現を！**

実践発表お世話になりました。ありがとうございました！

舞鶴市立大浦小学校 鎌野 高信 校長
「大浦未来学」を軸としたカリキュラム・マネジメント

《主な発表内容》

- ◇児童の実態を踏まえた「大浦未来学」の創造の過程や現状
- ◇児童任せではなく、教師も活動の一員として参加
- ◇「大浦未来学」を軸とした教科等横断的な学び
- ◇活動内容等を中学校ブロック内で共有



疑問や問いを持つことができる児童を目指していること、教師が「ジェネレーター」（※）として児童と一緒に悩み、一緒に楽しむことを大切にしていることなどをご紹介いただきました。

※ジェネレーター：対等な立場で共に考え活動し、アイデアを出す役割を担う人

綾部市立何北中学校 内田 竜太 教諭
「言語能力、問題発見・解決能力」を育成するために、
本校で進めてきたカリキュラム・マネジメント

《主な発表内容》

- ◇問題解決に向けて想像、行動できる力の育成
- ◇企業、大学との連携
- ◇総合的な学習の時間と教科の学びの接続
- ◇国語科のルーブリックの活用



「未来の担い手育成プログラム研究指定校」としての研究や「きょうと明日へのチャレンジコンテスト」の取組を活用し、課題解決のための学習につなげていく実践の経過をご紹介いただきました。

参加者の振り返り ～教務主任として実践したいと考えたこと～

- ◇子どもの主体的な学びを意識して、**総合的な学習の時間の計画を見直す時間**を設定したい。今年度の実践を振り返り、**各部の部長と連携**を図りながら次年度の教育課程を立案をしたい。また、次年度の研究の方向性を話し合う時間を**研究主任と相談**して計画したい。
- ◇**地域の特性や子どもの強み**を十分に理解し、力を引き出せる授業や行事を作ることができるように教員も子どもも振り返る。**何ができるようになったか、可視化して**話し合いたい。
- ◇例年通りを踏襲するのではなく、**何のために学ぶか、そのためにどう学ぶか**について教員側が考え、実践していくことが「学校の魅力」につながるのではないか。**小中のつながり**も意識して提案していきたい。